

柄の繰り返しが無い“やたら縞”の試作研究

古谷 稔

要旨 やたら縞の製造方法を見直し、産地の新技术と組合わせた“柄の繰り返しが無いやたら縞”の提案を行い産地活性化の一助とする。

1 目的

昨今のファッション産業は、個性的で独創的なものが好まれる傾向にある。そこで、やたら縞（別称：工場縞、出鱈目縞等）と呼ばれる播州織に着目した。余った糸をでたらめに並べて作る織物で、糸が貴重な時代に、自家用織物として製造され家人が着用した。再現性が低く個性的な和柄として近年人気が高まっている。

2 織物試作実験

2.1 糸設計と糸の試作

糸設計は、白糸と黒糸を基調とした糸を作成することとし、色糸がランダムに出現するようにアレンジワインダー（図1）用のデータ作成ソフトウェア（繊維工業技術支援センター著作物）を用いてデータを作成した。



図1 糸作成に用いたアレンジワインダー

糸作製は、糸設計で作成したデータを用い、アレンジワインダーにより作成した。ベースの白糸および黒糸と15種類以上の色糸を交互に繋いだ糸を2種類（図2）作成した。

アレンジワインダーは糸と糸を繋ぐ装置で、当所と榊山商店が共同開発したものである。

2.2 たて糸の糸準備

作成した糸をたて糸として整経に用いることで、色糸の出現に規則性がなく、繰り返しの無いたて糸を作製した。織機に仕掛けたものを図3、4に示す。



図2 アレンジワインダーで作成した糸
左：白ベース 右：黒ベース



図3 白ベースの糸を整経して織機に仕掛けた織機

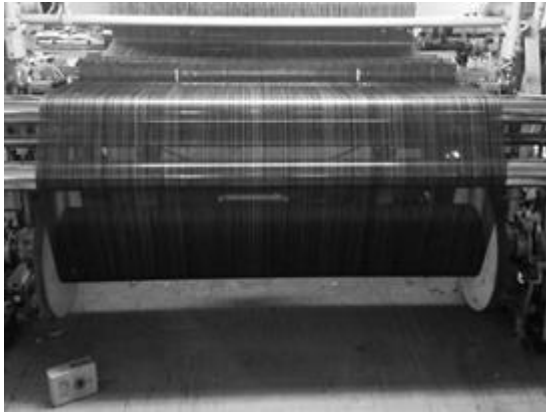


図4 黒ベースの糸を整経して織機に仕掛けた織機

2.2 織物の試作

織機に仕掛けたたて糸（図3、4）によこ糸を挿入し、織物の試作を行った。

白糸ベースのたて糸で試作した織物が図5で、黒糸ベースのたて糸で試作した織物が図6である。



図5 白糸ベースのたて糸で試作した織物

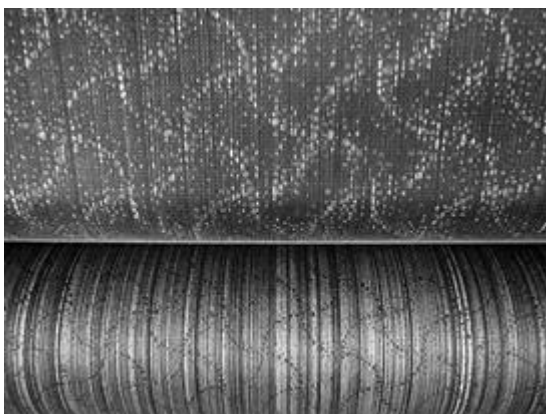


図6 黒糸ベースのたて糸で試作した織物

2.3 試作織物を使った試み

2.3.1 服にする試み

白ベースの糸については、神戸ファッション専門学校と共同研究を実施した。学生のコンペ形式（図7）によるアイデアから織物を試作（図8、9）し、試作した織物を自作自演のファッションショー（図10、11）で発表した。

今回の制作にコンペで選んだテーマは、“喜怒哀楽”で、若い学生の感性を、顔文字を使って表現したものを採用した。繰り返しのないやたら縞に、顔文字という現在の日本文化を取り込んだ斬新なアイデアである。

なお、ファッションショーは、2016年1月30日に神戸朝日文化会館で開催された。



図7 学生のアイデアコンペの風景



図8 製織中の織物



図9 完成した織物



図10 ファッションショーワンシーン



図11 ファッションショーラストシーン

2.3.2 柄の繰り返しが無いやたら縞の試み
 柄の繰り返しが無いやたら縞の有効な表現方法を検討した。袋織でやたら柄の表情の変化や風合いの多様性を検討するジャカード織試織（図12）、同織物とクラッシュ加工を併用し、糸移動による大胆な柄変化で、たて糸の色の変容を追求した加工試作（図13）である。



図12 袋織を活用した試作織物

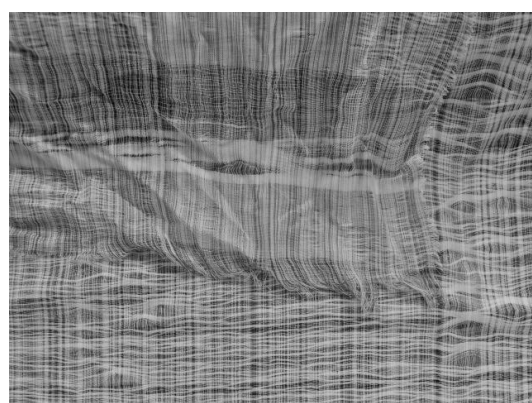


図13 クラッシュ加工を併用した試作織物

2.3.3 実用化への試み

企業との受託研究で、アレンジワインダーで作成した糸によるストールの試作を行った。図15が提供した糸で試作したストールで、つなぎ目で糸の色が替わる部分を拡大したものを図16に示す。糸の繋ぎ長さにもよるが、今回の試作では、1メートルの織物長に、約20個の繋ぎ目があり、順次色系が入れ替わるため、同じ柄のストールが出来ない“やたら縞ストール”が試作できた。

4 結 論

柄の繰り返しが無いやたら縞を製造する方法として、アレンジワインダーの活用し、白および黒を基調とした糸による試織とその展開について検討した。この結果、繰り返しが無く、繋いだ糸の色が順次入れ替わるため、同じ柄が無い織物の製造が可能である。

本研究の実証面では、神戸ファッション専門学校と共同研究した“やたら縞のファッションショー”は高評価であった。また、産地企業が高級ストールの“マルチカラーやたら縞ストール（図15）”の販売に着手している。さらに、アレンジワインダーを用いることで繰り返しの無いやたら縞の作製技術の確立は、同装置の新しい活路として期待できる。

研究にご協力いただいた神戸ファッション専門学校、阿江ハンカチーフ(株)に感謝します。

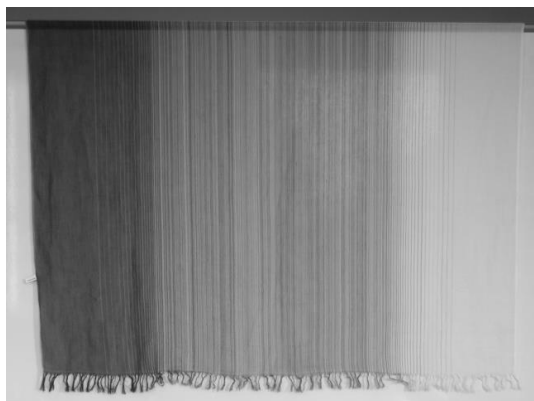


図15 提供した糸で作成したストール

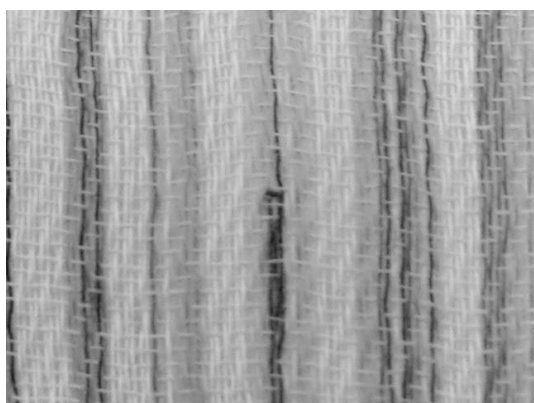


図16 糸のつなぎ目で色糸が入れ替わる部分